

三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事 仕様書

図 面 リ ス ト					
図面番号		図面名称	図面番号		図面名称
01	A-00	表紙・図面リスト	10	A-09	2・R階平面図
02	A-01	建築改修工事特記仕様書(その1)	11	A-10	各側立面図
03	A-02	建築改修工事特記仕様書(その2)	12	A-11	1・2階天井伏図
04	A-03	建築改修工事特記仕様書(その3)	13	A-12	各室展開図・建具表
05	A-04	建築改修工事特記仕様書(その4)			
06	A-05	建築改修工事特記仕様書(その5)			
07	A-06	建築改修工事特記仕様書(その6)			
08	A-07	内外部仕上表(改修前後)			
09	A-08	配置図・案内図・1階平面図			

工事名称 三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事		図面NO. 1 / 13	
図 名 内外部仕上表(改修前後)		整理NO. A-00	
縮尺 1/ N.S		年 月 日	
K M R 一級建築士事務所 知事登録 No. U-1115 株式会社 木村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO. LTD 事務所：福井県福井市大手2丁目20-15		一級建築士 No. 167899 木村憲一	
			C H D R

A1 : 原寸
A3 : 50%縮小図

三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事

改修工事設計図

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

福井県坂井市三国町覚善69-1

2. 敷地面積

1,386.70m²

3. 工事種目及び
工事内容

外壁・内壁修繕工事
1.外壁の改修
2.内壁の改修
3.天井の改修
4.トイレブースの取替え
5.車庫の塗装補修

4. 指定部分

※ 無
・ 有 対象部分 () 指定部分工期 年 月 日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

工事種目	内外部改修				
2 仮設工事	●				
3 防水改修工事					
4 外壁改修工事 コンクリート打ち直し仕上げ外壁	●				
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁					
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁					
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	●				
5 建具改修工事	●				
6 内装改修工事	●				
7 塗装改修工事	●				
8 耐震改修工事					
耐震改修範囲以外の躯体改修工事					
9 環境配慮改修工事					

6. 工事完成期限及び引き渡し期限

(1) 工事完成期限

原則、工事工期末日の14日前までとする。
なお、工事完成期限とは、官公庁等の検査が完了し、発注者が工事完成した旨の通知を受領した日とする。

(2) 引き渡し期限

工事工期末日とする。

(3) 指定完成

上記(1)及び(2)と同様とする。

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準」という。）
○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「標準」という。）
○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 本工事に電気設備工事及び機械設備工事が含まれる場合、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの特記仕様書を適用する。

(3) 改修標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について管理技術者（監理）と協議すること。

2. 特記仕様書の表記

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。（・印のみの場合は適用しない。）
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の【 】内表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) ☒印は特定調達品目を示す。これらを調達する場合は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める判断の基準等を満たすものとする。
なお、特定調達品目が否かの判断基準は現場説明書による。

章

項 目

特 記 事 項

1 一般共通通事項

① 適用区分

○ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）・同解説 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
・
・

○ 適用する

③ 品質計画等

○ 建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事
※ 風速（Vo＝ 30 ）
※ 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
・ 積雪区分 H12建示第1455号 別表（28）
・

4 電気保安技術者

※ 適用する

⑤ 条件明示項目

○ 現場説明書による。

⑥ 発生材の処理等

○ 現場説明書による。 ・ 横外搬出適切処理

⑦ 環境への配慮

(1.4.1) [1.4.1]

(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層材材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む）しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したもの

⑧ 材料の品質等

(1.4.2) [1.4.2]

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は管理技術者（監理）の承諾を受ける。
(3) 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能が評価されたことを示す書面を提出して管理技術者（監理）の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾式保護材、既製鋼合モルタル、既製鋼合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリースアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、床型特用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、鉄線製ふた

(6) 防水工事の保証期間
かし担保期間に限らず、以下の保証期間中に施工上の過失等により雨漏り事故が生じた場合は、無償にて補償復旧をすること。

防水の種類

保証期間（工事目的物渡し日以降）

アスファルト系防水

合成高分子系ルーフィングシート防水

塗膜防水

ケイ酸質系塗布防水

モルタル防水

5年間

⑨ 技能士

[1.6.2]

適用工事種目	技能検定作業
防水改修工事	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 ・ 左官作業 ・ 内外装板金作業
外壁改修工事	・ 左官作業 ・ タイル張り作業 ○ 建築塗装作業
建具改修工事	・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業
内装改修工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーベット系床仕上げ作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ○ 鋼製下地工事作業 ○ 壁張作業 ・ 大工工事作業 ・ タイル張り作業
塗装改修工事	○ 建築塗装作業
耐震改修工事	・ 鉄筋組立て作業 ・ 型枠工事作業 ・ とび作業
コンクリートブロックALCパネル工事	・ コンクリートブロック工事作業
石工事	・ エーエルシーパネル工事作業
植栽工事	・ 石張り作業 ・ 造園工事作業

⑩ 石綿含有建材の調査

調査

[1.5.1]

※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及びび与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、管理技術者（監理）に報告する。

調査範囲 ○ 外壁 ・ 図示 ()
貸与資料 ()

○分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト

分析方法

材 料 名	定性分析方法 JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3、JIS A 1481-4 または JIS A 1481-5
複層 塗 装 材	○ 2 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示 ○外壁・外階段 壁

⑪ 室内空気中の化学物質の濃度測定

(1.5.9) [1.7.9]

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、管理技術者（監理）に報告すること。
測定はバツッパ型採取機器により行う。
着工前の測定 ・ 行う ○行わない
測定対象室 ・ 図示 ○事務室 測定箇所数 ・ 図示 ○カ所
報告の様式等については、現場説明書による。

⑫ 完成時の提出図書

・（建築改修）工事特記仕様書による。 [1.7.1～3] [表1.7.1]
※ 完成図・財産図
※ 原因・機写製本
提出部数： 原因（A1版 3つ折り図面ファイル共） 1部
複写（A3版 製本） 1部
提出先： ・ 機構本部（検査員） ※工事場所施設（施設管理者）
※ 完成図・財産図のCADデータ及びPDFデータ入りCD-R
提出部数： ※2部 ・ 部
提出先： ※機構本部（検査員） 1部 ※工事場所施設（施設管理者） 1部
種類 すべての図面とする。ただし、参考図、撤去図等は削除することができる。
※ 施工計画書 提出部数 ※1部 ・ 部
※ 施工図 提出部数 ※1部 ・ 部
・ 保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・ 部

13 埋設配管・配線埋設配管・配線

あと施工アンカー工事
6章および8章<あと施工アンカー>による

コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の星出を行う
範囲 ※ 図示 ・
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を管理技術者（監理）に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものがあるを確認する。
(5) 躯体の星出は、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ c m

⑬ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、管理技術者（監理）の承諾を受ける。

15 設計GL

※ 図示 ・ 設計GL＝現状GL

⑭ 色、柄などの指示

・色柄などは、施設管理者の承諾を受けて、管理技術者（監理）が指示する。

⑮ 完成写真

撮影箇所 ・ 外部 箇所 ・ 内部 箇所
撮 影 カラー 原版35mm以上又は428万画素以上のデジタルカメラ
提出形態 A4版写真真用光沢紙（紙厚0.26mm以上）、350dpi以上で作成する。
提出部数 ※2部 ・ 部
提出先 ※機構本部（検査員）1部 ※工事場所施設（施設管理者）1部
作成要領 付帯工事の場合は、主たる工事が取りまとめる。なお、提出部数は主たる工事による。完成写真と工事着手前の写真を対比させて作成する。
撮影箇所については、事前に管理技術者（監理）の承諾を受ける。

2 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策

・防音パネル ・防音シート [2.1.3]
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・ 図示 [2.2.1] [表2.2.1]

2 足場等

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の2)手すり据置方式又は3)手すり先行専用足場方式により行う。
・ 内部足場 ・ 設置する（ ※ 図示、足場板等 ・ ） ・ 設置しない
・ 外部足場 ・ 設置する（ ※ 図示、足場板等 ・ ） ・ 設置しない
・ 防護シート ・ 設置する ・ 設置しない
材料、撤去材等の運搬
種類（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ）
C種：利用可能なエレベーター（ ・ 図示 ・ ）
D種：利用可能な階段（ ・ 図示 ・ ） [2.3.1]

⑥ 既存部分の養生

1) 養生の方法等
○ 既存部分 養生の方法（ ※ ビニルシート、合板等 ・ ）
○ 既存家具、既存設備等 養生の方法（ ※ ビニルシート等 ・ ）
○ 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（ ・ ビニルシート等 ・ ）
・ 保管場所（ ・ 図示 ・ ）
・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動（ ・ 図示 ・ ）
2) 既存部分に汚染又は損傷を与える恐れのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

④ 仮設間仕切り

1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 ・
2) 仮設間仕切りの種類と材質等

種 別	仕 上 げ（厚さmm）	塗 装	充填材
・ A 種	・ セツこうボード 種類（ ・ ） 厚さ（ ・ mm ※ 9.5mm ） ・ 合板 種類（ ・ ） 厚さ（ ・ mm ※ 9mm ） ・	・ 無し ・ 片面 ・	グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上 ・
・ B 種			
※ C 種	防炎シート		

3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材 質	仕 上 げ	塗 装	設置箇所	グラスウール貼り
※ 木製	※ 合板張り程度	・ 無し	・ カ所	・ 有り
・	・	・ 片面	・ 図示	・ 無し

グラスウール貼り ※ グラスウール32k（厚：50mm以上）

⑤ 監督員事務所

[2.4.1]

・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に設置する ○ 設けない
・ 規模及び仕上げの程度は現場説明書による

⑥ 工事用水
⑦ 工事用電力

構内既存の施設 ・ 利用できない ※ 利用できる（※ 有償 ○ 無償）
構内既存の施設 ・ 利用できない ※ 利用できる（※ 有償 ○ 無償）

3 防水改修工事

1 施工数量調査

調査範囲 ・ 図示 ・ [1.6.2、3]
調査方法 ・ 図示 ・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・
調査報告書 提出部数 ・ 2部 ・

2 降雨等に対する養生方法

※ 改修標準 表3.1.3(5)(7)～(9)による。 ・ [3.1.3]

3 既存防水の処理

既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） [3.1.4][3.2.3、4、6]
・ 行わない
既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ）
・ 行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装方法 ・ 行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X）
・ 行わない

4 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・ [3.2.6]
POS工法及びPOSJ工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準 3.2.6(4)(9)①②～③による ・
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸線の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 管理技術者（監理）と協議する ・ 図示

5 アスファルト防水

屋根保護防水（既存） [3.3.2～5][9.2.1～3]
新設防水層の種類

工法	種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート
・ P 2 A	・ A-1			※8 リリフ/4mm 厚さ0.15mm以上 または750mm×200mm 70g/m ² 程度 ・
	※ A-2			
	・ A-3			
・ P 1 B	・ B-1			※750mm×200mm 70g/m ² 程度 ・
	※ B-2			
・ P 2 A I	・ A I-1			(種類) ※JIS A 9521に基づく押出 法8 リリフ/4mm断熱材3種BA(2mm層付) 70g/m ² 程度 ・
	※ A I-2			
	・ A I-3			
・ P 1 B I	・ B I-1		(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	・
	・ B I-2		・ mm	
	※ B I-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準 表3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料による区分 ※9種
厚さ（ ）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準 表3.3/3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料による区分 ※9種
厚さ（ ）mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※氷下 80mm以上 ・
床タイル張り ※氷下 60mm以上 ・

立上り部の保護工法
・ 乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
高業系パネル I 類（厚さ（mm） 幅（mm））
・ れんが押え（※JIS R 1250 ・ ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内）

工事名称	三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事	図面NO.	2 / 13
図 名	建築改修工事特記仕様書（その1）	整理NO.	A-01
縮 尺		年 月 日	
K M R 一般建築士事務所 知事登録 No. いー115		一般建築士 No. 167899	
株式会社 木村建築事務所		木村 憲一	
KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO., LTD			
事務所：福井県坂井市大字丁20-15		C H D R	

[illegible]

4-3	1 既存タイル張りの撤去 2 タイルの形状、寸法等 3 ひび割れ部改修工法 4 欠損部改修工法 5 浮き部改修工法	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・張付けモルタルまで [4.4.5、8] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th><th colspan="2">浸水率による区分</th><th rowspan="2">うわぐすり</th><th rowspan="2">役物</th><th rowspan="2">色</th><th rowspan="2">再生材の耐凍害性</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr> <th>I類</th><th>II類</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う (施工箇所:) ・行わない 見本焼き ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない 改修箇所 ※既存タイル張り面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ・樹脂注入工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (mL/m)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上1.0未満</td><td>※ 200～300</td><td>・ 130</td></tr> </tbody> </table> ・手動式エポキシ樹脂注入工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入量 (mL/m)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.2以上0.3未満</td><td>・ 50～100</td></tr> <tr> <td>0.3以上0.5未満</td><td>・ 100～200</td></tr> <tr> <td>0.5以上1.0以下</td><td>・ 150～250</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 130</td></tr> </tbody> </table> ・機械式エポキシ樹脂注入工法 注入状況の確認方法 コア抜き ※ 行う ・行わない 抜取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき、個 抜取り部の補修方法 ※ 図示 ・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.4.5、7、8] 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成変成シリコーン樹脂系 ・タイル張替え工法 張替え用材料 ・外壁タイル接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成変成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル (・現調合材料 ・既製調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修仕様 表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (改修仕様4.3.10 (3) による) ・ タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り シーリング: 改修特記仕様書3章 防水改修工事による ・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (改修仕様4.3.10 (3) による) ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	施工箇所	形状寸法 (mm)	浸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材の耐凍害性	備考	I類	II類			・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200～300	・ 130	ひび割れ幅 (mm)	注入量 (mL/m)	0.2以上0.3未満	・ 50～100	0.3以上0.5未満	・ 100～200	0.5以上1.0以下	・ 150～250		・ 130	6 目地改修工法 4-4 ① 材料 ② 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整 ③ 下地調整塗材 ④ 仕上げ塗材仕上げ 5 マスチック塗材塗り 6 外壁用塗膜防水塗り 5 建具改修工事 1 改修工法 2 防火戸 3 見本の製作等	・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・目荒し工法 (改修仕様4.3.10 (3) による) ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・ シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による [4.1.4] [4.4.5、16] ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による [4.5.2] [表4.5.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th><th>処理範囲</th><th>下地面の補修</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上げ面全体</td><td>○ひび割部 改修工法</td></tr> <tr> <td></td><td>・図示</td><td>・浮き部 改修工法</td></tr> <tr> <td>○ 高圧水洗工法</td><td>※既存仕上げ面全体 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)</td><td>○欠損部 改修工法</td></tr> <tr> <td>加圧力 ※30MPa程度以上</td><td>・図示</td><td></td></tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td><td>※既存仕上げ面全体</td><td></td></tr> <tr> <td>・図示</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○ 水洗い工法</td><td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体</td><td></td></tr> <tr> <td>・図示</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※ 下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル [4.5.2] [表4.5.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th><th>呼び名</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・薄付け仕上げ塗材</td><td>・外装薄塗材 S i</td><td>・</td><td>・ 砂壁状</td></tr> <tr> <td></td><td>・可とう形外装薄塗材 S i</td><td>・</td><td>・ ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)</td></tr> <tr> <td></td><td>・外装薄塗材 E</td><td>・</td><td>・ さざ波状</td></tr> <tr> <td></td><td>・可とう形外装薄塗材 E</td><td>・</td><td>・ 平たん状</td></tr> <tr> <td></td><td>・防水形外装薄塗材 E</td><td>・</td><td>・ 凹凸状 (・吹付け・こて塗り)</td></tr> <tr> <td></td><td>・外装薄塗材 S</td><td>・</td><td>・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り)</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・ 砂壁状じゅらく</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・ 京壁状じゅらく</td></tr> <tr> <td>・厚付け仕上げ塗材</td><td>・外装厚塗材 C</td><td>・</td><td>・ 吹放し ・凸部処理 ・平たん状</td></tr> <tr> <td></td><td>・外装厚塗材 S i</td><td>・</td><td>・ 凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td></tr> <tr> <td></td><td>・外装厚塗材 E</td><td>・</td><td>・ 上塗材 ・適用する ・適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・複層塗材 C E</td><td>・</td><td>・ 凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td></tr> <tr> <td>○ 複層仕上げ塗材</td><td>・可とう形複層塗材 C E</td><td>・</td><td>・ ゆず肌状 ・凸部処理 ○ 凹凸模様</td></tr> <tr> <td></td><td>・複層塗材 S i</td><td>・</td><td>耐候性 ※ 耐候形3種 ・</td></tr> <tr> <td></td><td>・複層塗材 E</td><td>・</td><td>上塗材</td></tr> <tr> <td></td><td>・複層塗材 R E</td><td>・</td><td>溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td></tr> <tr> <td></td><td>・防水形複層塗材 C E</td><td>・</td><td>樹脂 ※ アクリル系 ・</td></tr> <tr> <td></td><td>○ 防水形複層塗材 E</td><td>・</td><td>外観 ※ つやあり ・つやなし</td></tr> <tr> <td></td><td>・防水形複層塗材 R E</td><td>・</td><td>・ メタリック</td></tr> <tr> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材</td><td>・可とう形改修塗材 E</td><td>・</td><td>・ 平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>耐候性 ※ 耐候形3種 ・</td></tr> <tr> <td></td><td>・可とう形改修塗材 R E</td><td>・</td><td>溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>樹脂 ※ アクリル系 ・</td></tr> <tr> <td></td><td>・可とう形改修塗材 C E</td><td>・</td><td>外観 ※ つやあり ・つやなし</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・</td><td>・ メタリック</td></tr> </tbody> </table> 種別 ・A種 ・B種 [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1] 仕上げの形状 工法 下塗料の耐候性 ・適用する ・適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。 吹付け工法の模様材の種類 (・所要量 (kg/m²)) 外壁用仕上げ塗料の種類 (・所要量 (kg/m²)) 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗り仕上げ外壁等改修) による。 [5.1.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>適用箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・ 建具表による</td></tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・ 建具表による</td></tr> <tr> <td>・鋼製建具</td><td>・ 外部</td><td>・</td><td>・ 建具表による</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 内部</td><td>・</td><td></td></tr></tbody></table>	工 法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	○ひび割部 改修工法		・図示	・浮き部 改修工法	○ 高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	○欠損部 改修工法	加圧力 ※30MPa程度以上	・図示		・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体		・図示			○ 水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体		・図示			種 類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S i	・	・ 砂壁状		・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)		・外装薄塗材 E	・	・ さざ波状		・可とう形外装薄塗材 E	・	・ 平たん状		・防水形外装薄塗材 E	・	・ 凹凸状 (・吹付け・こて塗り)		・外装薄塗材 S	・	・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り)			・	・ 砂壁状じゅらく			・	・ 京壁状じゅらく	・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C	・	・ 吹放し ・凸部処理 ・平たん状		・外装厚塗材 S i	・	・ 凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし		・外装厚塗材 E	・	・ 上塗材 ・適用する ・適用しない		・複層塗材 C E	・	・ 凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	○ 複層仕上げ塗材	・可とう形複層塗材 C E	・	・ ゆず肌状 ・凸部処理 ○ 凹凸模様		・複層塗材 S i	・	耐候性 ※ 耐候形3種 ・		・複層塗材 E	・	上塗材		・複層塗材 R E	・	溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系		・防水形複層塗材 C E	・	樹脂 ※ アクリル系 ・		○ 防水形複層塗材 E	・	外観 ※ つやあり ・つやなし		・防水形複層塗材 R E	・	・ メタリック	・可とう形改修用仕上げ塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・ 平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状			・	耐候性 ※ 耐候形3種 ・		・可とう形改修塗材 R E	・	溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系			・	樹脂 ※ アクリル系 ・		・可とう形改修塗材 C E	・	外観 ※ つやあり ・つやなし			・	・ メタリック	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・ 建具表による	・樹脂製建具	・	・	・ 建具表による	・鋼製建具	・ 外部	・	・ 建具表による		・ 内部	・	
施工箇所	形状寸法 (mm)	浸水率による区分			うわぐすり	役物						色	再生材の耐凍害性	備考																																																																																																																																																																																																														
		I類	II類																																																																																																																																																																																																																									
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																				
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																				
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																				
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																									
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200～300	・ 130																																																																																																																																																																																																																									
ひび割れ幅 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																											
0.2以上0.3未満	・ 50～100																																																																																																																																																																																																																											
0.3以上0.5未満	・ 100～200																																																																																																																																																																																																																											
0.5以上1.0以下	・ 150～250																																																																																																																																																																																																																											
	・ 130																																																																																																																																																																																																																											
工 法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																																																																																																										
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	○ひび割部 改修工法																																																																																																																																																																																																																										
	・図示	・浮き部 改修工法																																																																																																																																																																																																																										
○ 高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	○欠損部 改修工法																																																																																																																																																																																																																										
加圧力 ※30MPa程度以上	・図示																																																																																																																																																																																																																											
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体																																																																																																																																																																																																																											
・図示																																																																																																																																																																																																																												
○ 水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体																																																																																																																																																																																																																											
・図示																																																																																																																																																																																																																												
種 類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																									
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S i	・	・ 砂壁状																																																																																																																																																																																																																									
	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)																																																																																																																																																																																																																									
	・外装薄塗材 E	・	・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																									
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・ 平たん状																																																																																																																																																																																																																									
	・防水形外装薄塗材 E	・	・ 凹凸状 (・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																									
	・外装薄塗材 S	・	・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																									
		・	・ 砂壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																									
		・	・ 京壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																									
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C	・	・ 吹放し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																									
	・外装厚塗材 S i	・	・ 凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																																																																																																																									
	・外装厚塗材 E	・	・ 上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																									
	・複層塗材 C E	・	・ 凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																																																																																																																									
○ 複層仕上げ塗材	・可とう形複層塗材 C E	・	・ ゆず肌状 ・凸部処理 ○ 凹凸模様																																																																																																																																																																																																																									
	・複層塗材 S i	・	耐候性 ※ 耐候形3種 ・																																																																																																																																																																																																																									
	・複層塗材 E	・	上塗材																																																																																																																																																																																																																									
	・複層塗材 R E	・	溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																									
	・防水形複層塗材 C E	・	樹脂 ※ アクリル系 ・																																																																																																																																																																																																																									
	○ 防水形複層塗材 E	・	外観 ※ つやあり ・つやなし																																																																																																																																																																																																																									
	・防水形複層塗材 R E	・	・ メタリック																																																																																																																																																																																																																									
・可とう形改修用仕上げ塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・ 平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																									
		・	耐候性 ※ 耐候形3種 ・																																																																																																																																																																																																																									
	・可とう形改修塗材 R E	・	溶媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																									
		・	樹脂 ※ アクリル系 ・																																																																																																																																																																																																																									
	・可とう形改修塗材 C E	・	外観 ※ つやあり ・つやなし																																																																																																																																																																																																																									
		・	・ メタリック																																																																																																																																																																																																																									
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																									
・アルミニウム製建具	・	・	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																									
・樹脂製建具	・	・	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																									
・鋼製建具	・ 外部	・	・ 建具表による																																																																																																																																																																																																																									
	・ 内部	・																																																																																																																																																																																																																										

[illegible]

[illegible]

7
塗装
改修
工事

① 材料

② 下地調整

③ 素地ごしらえ

④ 錆止め塗料塗り

⑤ 塗装

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：）

塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示 ・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う（箇所） ・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗の場合はR種	—
鉄鋼面	※R B種	—
亜鉛めっき鋼面	※R B種	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※R B種	—
モルタル、プaster面	※R B種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、 ALCパネル面	※R B種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・R A種 ・R B種 ・R C種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・R B種 ・R C種	・行う ・行わない
せつこう板面及びその他板面	※R B種	—

③ 3. 2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗の場合 透明塗料塗の場合	※A種 ・B種 ※B種 ・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面（DP）		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びせつこうプaster面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種 ・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種 ・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種 ・A種
せつこう板面及び	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
その他板面	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

④ 7. 4. 2. 3]

錆止め塗料塗りの種別				
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	
鉄鋼面	SOP （工程の種類は欄7. 4. 3）	塗替え 新規見え掛り 新規見え隠れ	※C種 ※A種 ※B種	
	EP-G （工程の種類は欄7. 4. 3）	塗替え 新規見え掛り 新規見え隠れ	※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種	
	DP （工程の種類は欄7. 4. 4）	塗替え 塗替え 新規	7. 4. 2 (1) (イ) (ロ) ・A種（下地調整RA種） ・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種） ・A種	
	亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種類は欄7. 4. 5）	塗替え 新規 鋼製建具等 その他	※C種 ※A種 ※B種 ※B種
		EP-G （工程の種類は欄7. 4. 5）	塗替え 新規 鋼製建具等 その他	・C種 ・C種 ・C種 ※B種
		DP （工程の種類は欄7. 4. 6）	塗替え 新規	・B種 —
		⑤ 7. 5. 2～7. 12. 2]		
	塗装の種類	塗装面	工程	
			塗替え	新規
	①合成樹脂調合 ペイント塗り（SOP）	木部屋外	※B種	※A種
木部屋内		※B種	※B種	
塗料の種類 ※1種 ・2種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・A種	
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種	※B種	
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種	※B種	
・クリヤラッカー塗り（CL）		※B種 ・A種	※B種 ・A種	
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※B種 ・A種	※B種 ・A種	
②耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（ 2 ）級	—	—	
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ 2 ）級	—	—	
	コンクリート面及び押出成形ワート板面	・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種	
	・つや有合成樹脂 エマルション ペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ※B種 ※B種 ※A種 ・B種	
③合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※B種	※B種 ・A種	
	・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種 ・A種	
・ステイン塗り		・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り（OS）	※B種 ・A種	
・木材保護塗料塗り（MP）		※B種	※B種 ・A種	
工程	塗料その他			塗付け量 （kg/㎡）
	規格番号	規格名称	種類 等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高 日射反射 率塗料	2 種 ・1 級 ・2 級 ・3 級	塗料製造所の仕様による

8

9

2

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・製造所の仕様による

改修特記仕様書（その7）（その8）による

石綿粉じん濃度測定
[9. 1. 1. 3～6]

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点
				・計点
・測定2	処理作業中	処理作業室内	セキユーティーズゾーン入口	・計点
				・計点
・測定3	処理作業中	セキユーティーズゾーン入口	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	・計点
				・計点
・測定4	処理作業中	セキユーティーズゾーン入口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 （処理作業室外の場合）	・計点
				・計点
・測定5	処理作業中	セキユーティーズゾーン入口	施工区画周辺 ・敷地境界	・計点
				・計点
・測定6	処理作業中	セキユーティーズゾーン入口	施工区画周辺 ・敷地境界	・計点
				・計点
・測定7	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点
				・計点
・測定8	処理作業後シート 撤去後1週間以降	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点
				・計点
・測定9	撤去後1週間以降	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点
				・計点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称

測定方法

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（17μm）
・測定5	マイク（モニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	φ25mmの試験管（mm）	試料の吸引流量（L/min）	試料の吸引時間（min）
・測定4	25	5	30
・測定5	47	10	120
・測定	47	10	240

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・図示
除去工法 ※9. 1. 3 (2) (7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲 ・図示
除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去
除去対象範囲 ・図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せつこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
除去対象範囲 ・図示
隔離養生（負担不要）方法 ・ビニールシート等による養生を行う
足場 ・図示
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲 ・図示
着工前の試験施工 ※行う ・行わない
除去工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）
・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）
・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）
・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
養生方法
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有塗材除去後の仕上け工事
・図示

3

4

5

6

7

除去処理対象物
・
除去対象範囲
・図示
除去方法
・図示
処分
・埋立処分（安定型最終処分場）

4 PCB含有シーリング
材処分

5 断熱・防露
改修工事 [G]

6 屋上緑化改修工事 [G]

7 透水性アスファルト
舗装改修工事

除去処理対象物
・
除去対象範囲
・図示
除去方法
・図示
処分
・埋立処分（安定型最終処分場）

4 PCB含有シーリング
材処分

5 断熱・防露
改修工事 [G]

6 屋上緑化改修工事 [G]

7 透水性アスファルト
舗装改修工事

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等修繕のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

9. 3. 2～4]

工法	断熱材	種類	厚さ（mm）	施工箇所	備考
・断熱材 打込み工法	JIS A 9521に基づく 発泡ポリイソシアヌレート断熱材	・ ・	・ ・	・図示 ・	
・断熱材 現場発泡工法	JIS A 9521に基づく 発泡ポリイソシアヌレート断熱材	・A種I ・A種II	・25 ・30	・図示 ・	
・断熱材 後張り工法	JIS A 9521に基づく 発泡ポリイソシアヌレート断熱材	・ ・	・ ・	・図示 ・	
・断熱材後張り工法 ・断熱材にせつこう板等を張り付けたパネル 材質 厚さ（mm） ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法					

9. 4. 2～4]

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の種類等 ※図示
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示
（品質・性能・試験方法は別表による）
工法 1章 適用区分による風圧力の（・1・1.15・1/3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する（種類 ・）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年

9. 5. 2～5. 9]

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ（mm）
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂（改修標準仕表9. 5. 1による）	・図示 ・
・フィルター層	・改修標準仕表9. 5. 3 (2) (イ)による	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う ・行わない
・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
路床安定処理の方法 ・置き換え工法（ ・）
・安定処理工法

路床安定処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
添加量 ・kg/㎡（目標CBR ※3以上 ・）
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/㎡以上
厚さ（mm） ・0. 5～1. 0
引張強さ ・98N/5cm（10kgf/5cm）以上
透水係数 ・1. 5×10⁻¹ cm/sec以上

試験
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない
穴径クロム溶出試験 ・行う（現場説明書による） ・行わない
路盤材料（改修標準仕表9. 5. 3による種別）

種類	
砕石	・クラッシュラン
	・粒度調整砕石
再生材	・クラッシュラン [G]
	・粒度調整砕石 [G]
・クラッシュラン数値スラグ [G]	
・粒度調整数値スラグ [G]	
・水硬性粒度調整数値スラグ [G]	
舗装の構成 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの	

工事名称
三國公共職業安定所外壁・内壁修繕工事

図面NO.
7
13

国名
建築改修工事特記仕様書（その6）

縮尺
1/100

年
月
日

一級建築士事務所
株式会社 木村建築事務所
KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO. LTD
事務所：福岡県福岡市中央区2丁目20-15

一級建築士
木村憲一

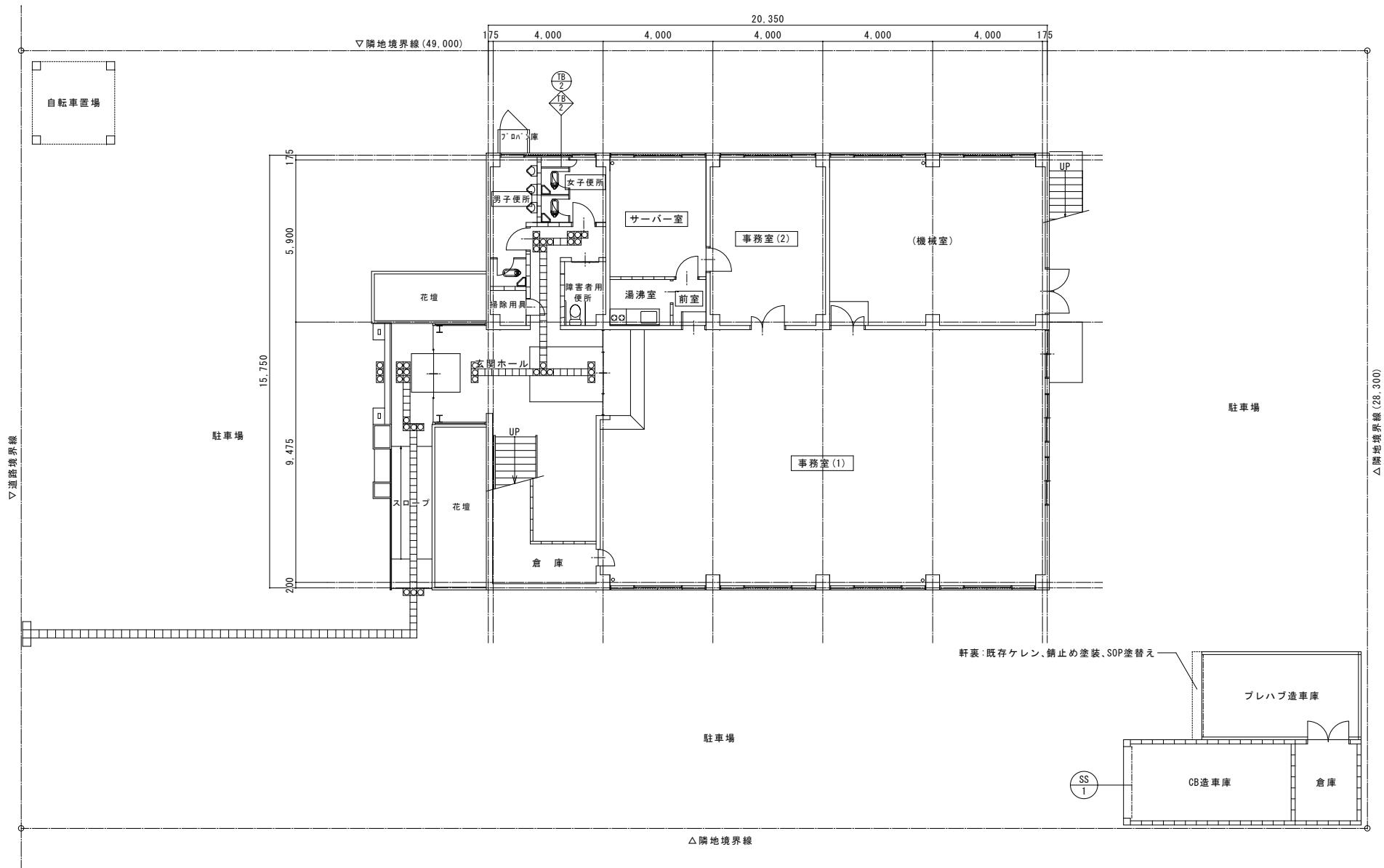
CH
DR

外 部 仕 上 表							
場 所		仕 上		場 所		仕 上	
外 壁	改 修 前	コンクリート打ち放し、防水形複層塗材E		屋外階段手摺	改 修 前	スチール、SOP塗り	
	改 修 後	外壁クラック部補修(ひび割れ補修:(幅0.2～1.0mm)自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、(幅1.0mm以上)Uカットシール充填工法) 水洗い洗浄、下地調整、防水形複層塗材E			改 修 後	既存ケレン、錆止め塗装、DP塗替え	
外 部 巾 木	改 修 前	コンクリート打ち放し仕上げ		CB造車庫	改 修 前	スチールシャッターに錆	
	改 修 後	既存のまま(欠損部補修)			改 修 後	既存ケレン、錆止め塗装、SOP塗替え	
庇・屋外階段裏	改 修 前	コンクリート打ち放し、防水形複層塗材E		プレハブ造車庫	改 修 前	正面軒裏に錆	
	改 修 後	高圧洗浄、既存塗膜劣化部除去後、防水形複層塗材E			改 修 後	既存ケレン、錆止め塗装、SOP塗替え	
開 口 部	改 修 前	スチールサッシ スチールドア スチールガラリ アルミサッシ					
	改 修 後	既存のまま					

内 部 仕 上 表															
階	室 名	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁		天井高		備 考	
		改 修 前	改 修 後	改修前	改修後	改 修 前	改 修 後	改 修 前	改 修 後	改修前	改修後	改修前	改修後	改 修 前	改 修 後
1 階	玄関ホール	モルタル下地 磁器質100角タイル貼り	既存のまま	テラゾブロック H=60	既存のまま	モルタル塗り金ゴテ 外部用吹付タイル	既存のまま	コンクリート打放し、複層塗材吹付	既存のまま						
	事務室(1)	〇Aフロアー下地(H=50) タイルカーペット張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り 梁型:GB-R張り、EP塗り	既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	既存のまま	2,550	既存のまま		
	事務室(2)	〇Aフロアー下地(H=50) タイルカーペット張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り 梁型:GB-R張り、EP塗り	既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	既存のまま	2,550 2,200	既存のまま		
	サーバー室	モルタル塗り金ゴテ ビニル床タイル張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り	既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	既存のまま	2,600	既存のまま		
	前 室	モルタル下地 25角モザイクタイル貼り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り	既存改修部仕上げ撤去後、 LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り	塩ビ製	既存のまま	2,250	既存のまま	天井点検口:アルミ製450×450 既存撤去	天井点検口:アルミ製450×450 既存再取付
	湯沸室	モルタル下地 25角モザイクタイル貼り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル下地、75角タイル貼り モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,250	既存のまま		
	男子・女子便所	モルタル下地 25角モザイクタイル貼り	既存のまま	75角タイル貼り		モルタル下地、75角タイル貼り	既存のまま	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,400	既存のまま	既存トイレブース撤去(女子便所)	トイレブース新設(女子便所)
2 階	階段室 廊 下	モルタル塗り金ゴテ ビニル床シート張り	既存のまま	テラゾブロック H=60		モルタル塗り金ゴテ 外部用吹付タイル	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,400	既存のまま		
	事務室(3)	〇Aフロアー下地(H=50) タイルカーペット張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	クラック部補修 下地調整、EP塗り	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り 梁型:GB-R張り、EP塗り 梁型:モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま 既存のまま クラック部補修、下地調整、EP塗り	塩ビ製	既存のまま	2,550	既存のまま		
	所長室	モルタル塗り金ゴテ タイルカーペット張り	既存のまま	木製巾木 CL塗り H=60		木下地、天然木化粧合板張り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り 梁型:GB-R張り、EP塗り	既存天井材欠損部 LGS下地、GB-Rt9.5捨て張り、DRt12張り	塩ビ製	既存のまま	2,600	既存のまま		
	会議室	モルタル塗り金ゴテ ビニル床シート張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	クラック部補修 下地調整、EP塗り	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,600 2,250	既存のまま		
	更衣室	〇Aフロアー下地(H=50) タイルカーペット張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	クラック部補修 下地調整、EP塗り	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,550 2,200	既存のまま		
	休憩室	木下地、タタミ敷 天然木化粧複合フローリング貼り	既存のまま	雑巾摺		モルタル塗り金ゴテ、砂壁塗料塗り	クラック部補修 下地調整、砂壁塗料塗り	LGS下地、GB-D(杉桎)t=9.0張り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,350	既存のまま		
	踏 込	モルタル塗り金ゴテ ビニル床シート張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	既存のまま	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り	既存のまま	木 製	既存のまま	2,250	既存のまま		
	湯沸室	モルタル下地 25角モザイクタイル貼り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		モルタル下地、75角タイル貼り モルタル塗り金ゴテ、EP塗り	クラック部補修 下地調整、EP塗り	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り	既存のまま	塩ビ製	既存のまま	2,250	既存のまま		
	資料室	モルタル塗り金ゴテ ビニル床タイル張り	既存のまま	ビニル巾木 H=60		コンクリート打放し仕上げ モルタル塗り金ゴテ仕上げ	クラック部補修	木毛セメント板t25打込み、EP吹付	既存のまま						

共 通 凡 例				防 火 材 料 認 定 番 号		特 記 事 項	
GB-R	石こうボード	CL	クリヤラッカー塗り	GB-R t12.5	不 燃 NM-8619 NM-8612	1. 天井下地は、特記なき限りLGS(屋内19形・室外25形)下地とする。	
GB-D	化粧石こうボード	LGS	軽量鉄骨(壁、天井)	GB-R t9.5	準不燃 QM-9828	2. 全建具は付属金物一式を込みとする。	
DR	岩綿吸音板			GB-D t9.5	準不燃 QM-9824	3. 各材料はF☆☆☆☆の材料又は規制対象外建材を使用のこと。	
FK	ケイ酸カルシウム板			DR t12.0	不 燃 NM-8599	4. 受注者に於いて、外壁の現況塗材のアスベスト含有分析調査を行い発注者に報告書を提出のこと。(外壁・外階段裏の2カ所想定)	
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り			FK t6	不 燃 NM-8578	5.	
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り					6.	
DP	耐候性塗料塗り					7.	

工事名称 三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事		図面NO. 8 / 13	
図 名 内外部仕上表(改修前後)		整理NO. A-07	
縮尺 ／ N.S ／		年 月 日	
K M R  一級建築士事務所 知事登録 No. U-115 株式会社 木村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO., LTD. 事務所：福岡県福岡市大手2丁目20-15	一級建築士 No. 167899		
	木村憲一		
		C H	D R



軒裏:既存ケレン、錆止め塗装、SOP塗替え

駐車場

駐車場

プレハブ造車庫

CB造車庫

倉庫

配置図・1階平面図 S=1:100

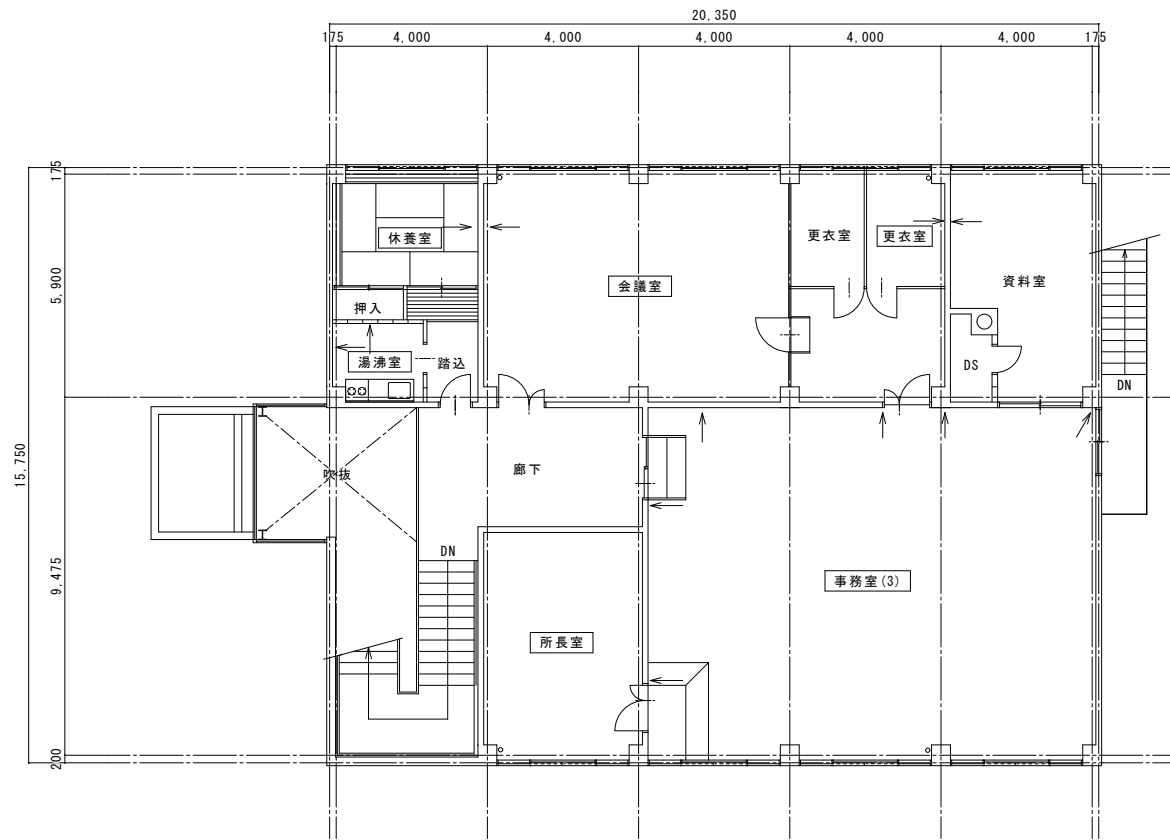
室名 改修室を示す

工事場所:坂井市三国町覚善69-1



案内図

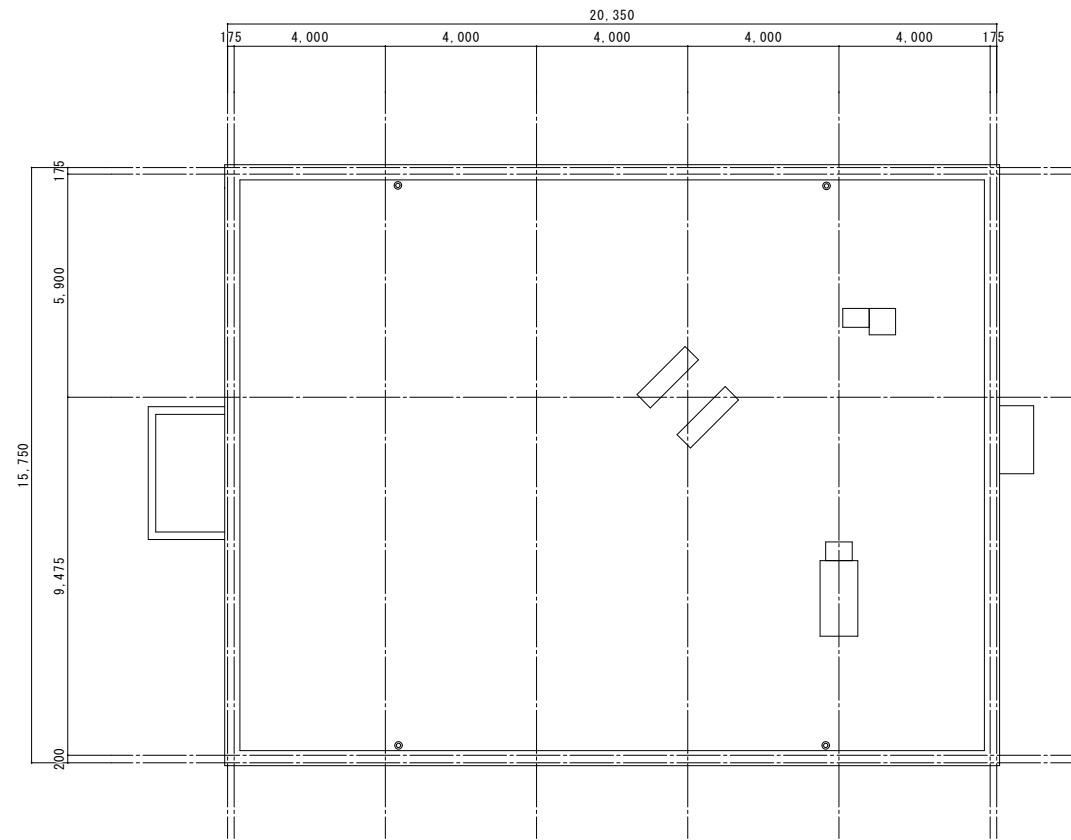
工事名称 三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事		図面No. 9 / 13
図名 配置図・1階平面図・案内図		整理No. A-08
縮尺 1 / 100		年 月 日
K M R 一級建築士事務所 知事登録 No. U-115 株式会社 木村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO. LTD 事務所: 福井県福井市大手2丁目20-15		木村憲一
		C H D R



← クラック補修位置を示す

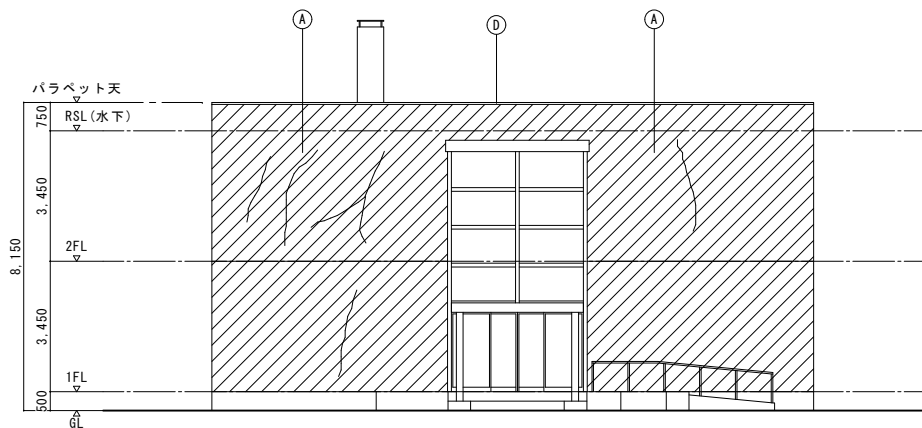
2階平面図 S=1:100

室名 改修室を示す

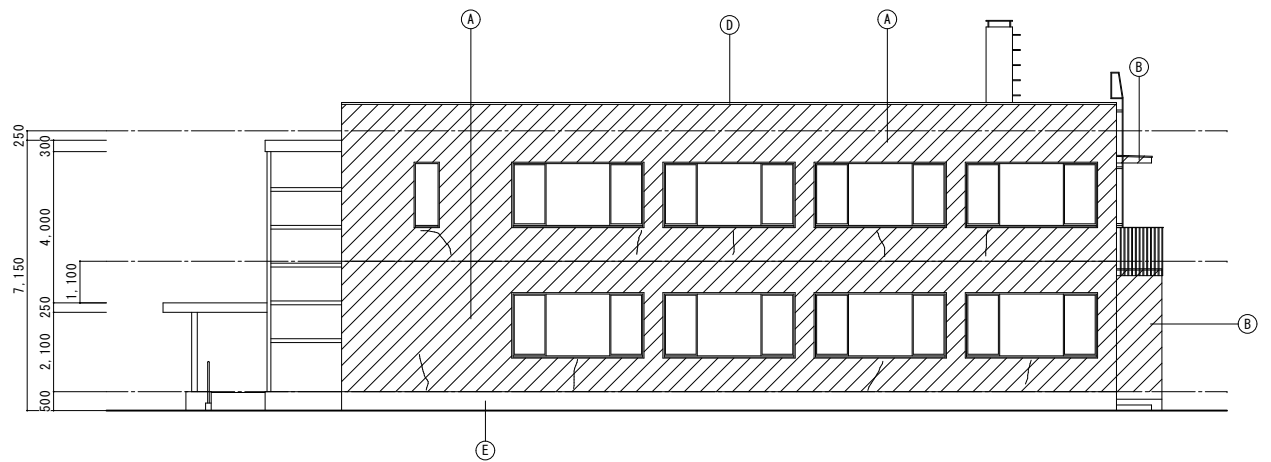


R階平面図 S=1:100

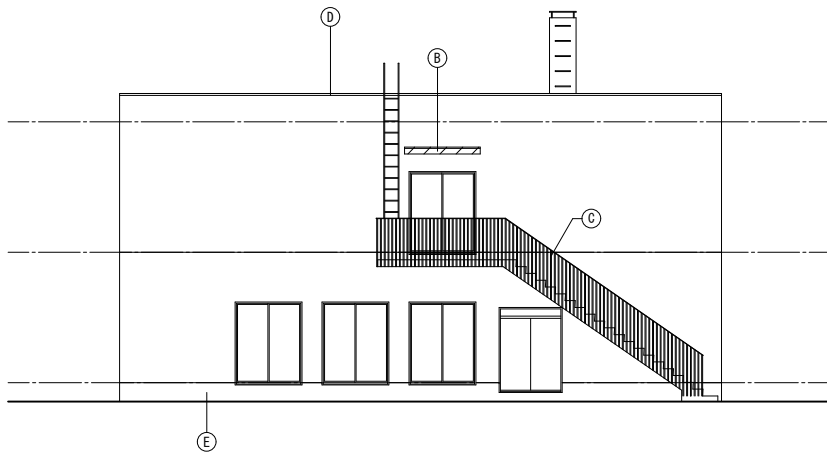
工事名称 三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事		図面NO. 10 / 13
図名 2・R階平面図		整理NO. A-09
縮尺 1 / 100		年 月 日
K M R 一級建築士事務所 知事登録 No. U-115 株式会社 木村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO. LTD 事務所：福井県福井市大手2丁目20-15		一級建築士 No. 167899 木村憲一
		C H D R



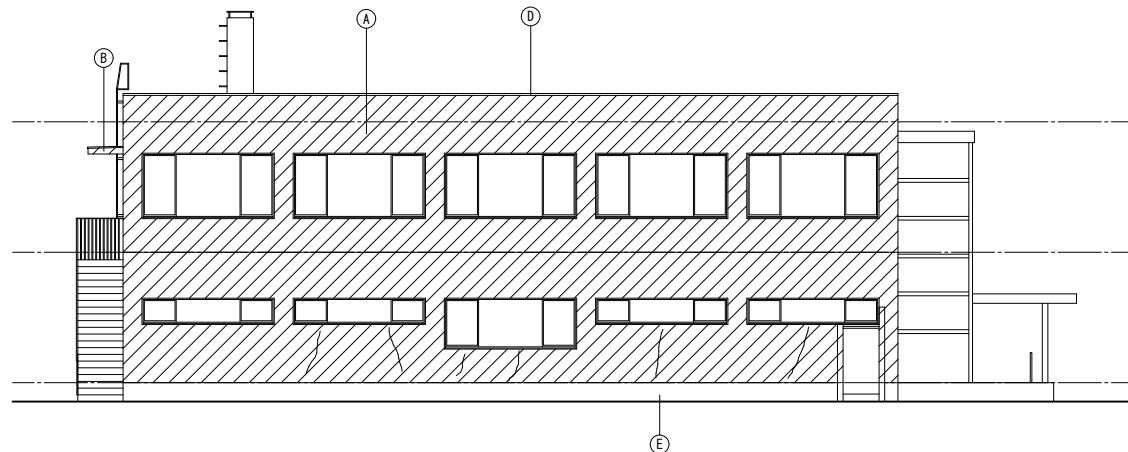
西側立面図 S=1:100



南側立面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100

改修後仕上凡例	
①	外壁:水洗い洗浄、下地調整、防水形複層塗材E
②	庇・階段裏:高圧洗浄、既存塗膜劣化部除去後、防水形複層塗材E
③	スチール手摺:ケレン、錆止め塗装、DP塗り
④	笠木:既存のまま
⑤	外部幅木:既存のまま
⑥	露出電線管:DP塗り
▽	(柱型・外部巾木部)打継目地シーリング (20×10) (PU-2)打替え



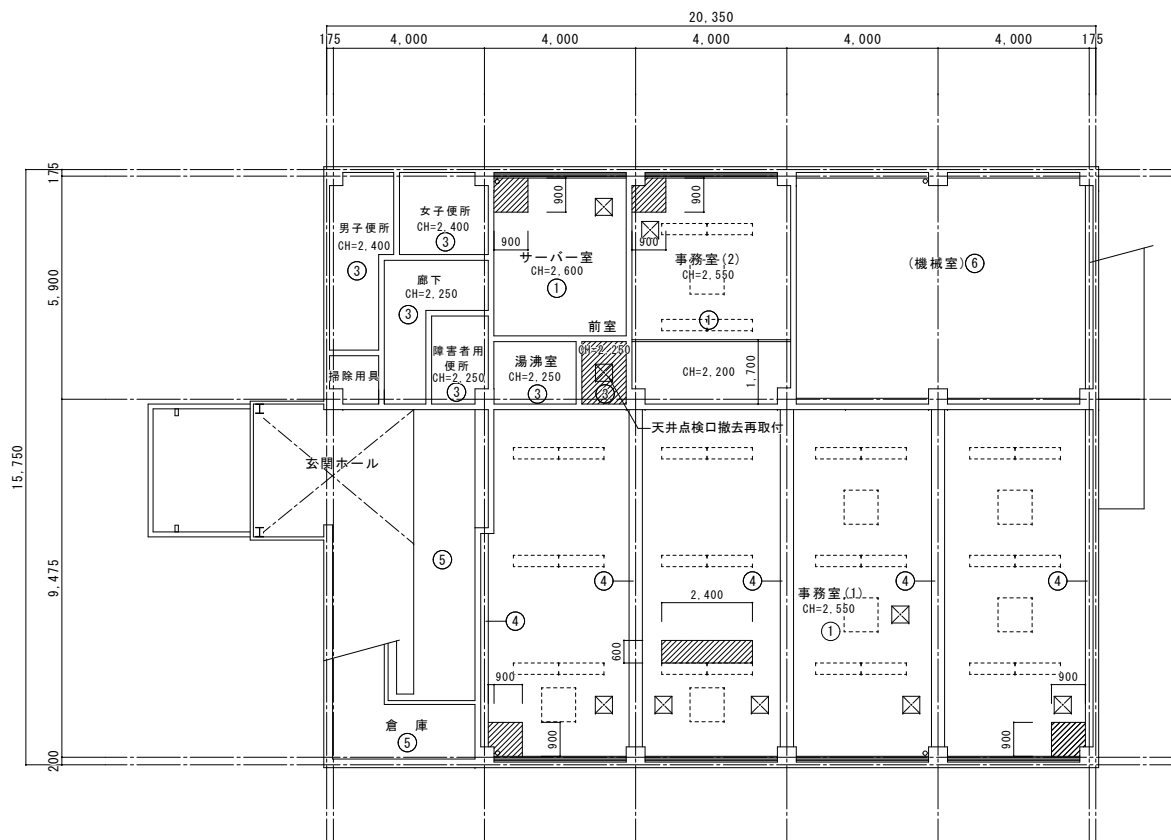
外壁改修範囲を示す



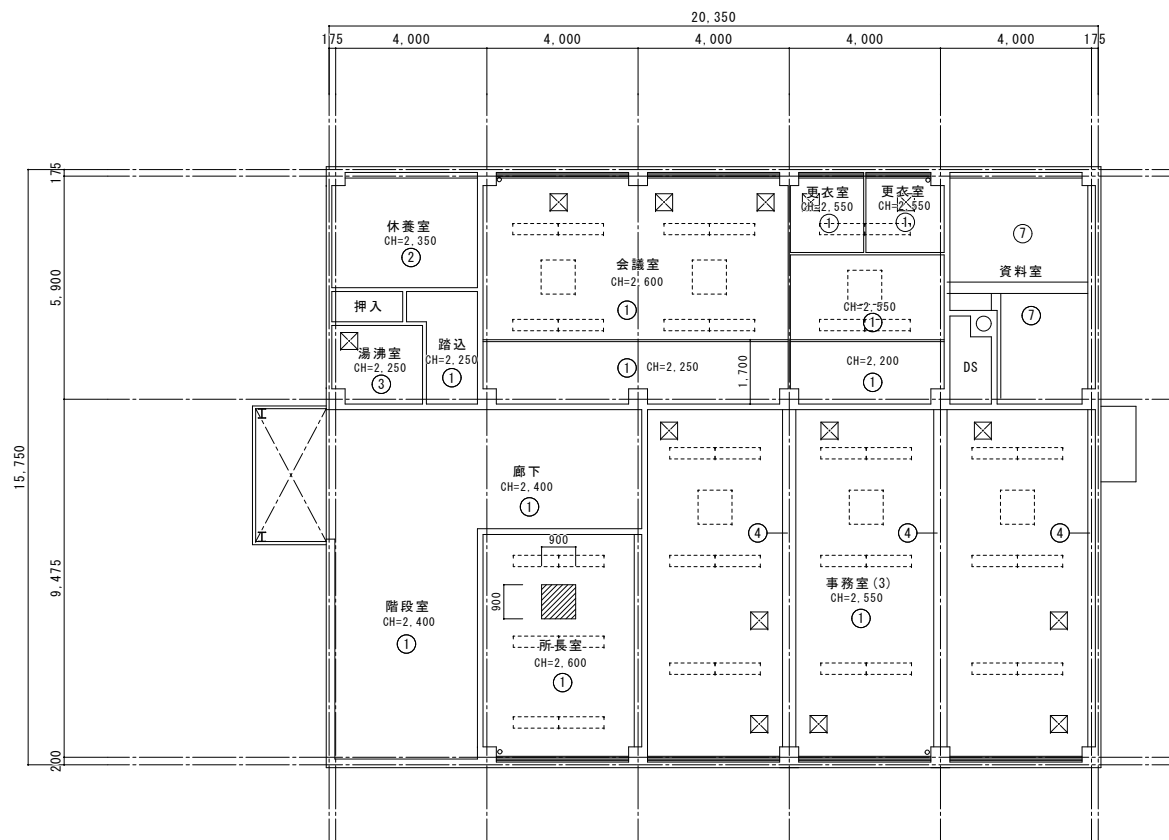
外壁クラック部を示す(参考)

外壁改修工法		1～2F計
外壁クラック部	幅 0.2～1.0mm 自動低圧樹脂注入工法	20m
	幅 1.0mm以上 Uカットシーリング材充填工法	30m
工事着手前に請負業者は、外観目視・打診調査を行い監督員に報告する。 報告書を元に、協議の上、施工方法を決定のこと。		

工事名称 三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事		図面NO. 11 / 13
図名 各側立面図		整理NO. A-10
縮尺 1 / 100		年 月 日
K.M.R. 一級建築士事務所 知事登録 No. U-115 株式会社 木村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO. LTD. 事務所: 福井県福井市大手2丁目20-15		一級建築士 No. 167899 木村憲一
		C H D R



1階天井伏図 S=1:100



2階天井伏図 S=1:100

天井仕上げ凡例(現状)	
記号	仕上
①	LGS下地、GB-Rt9.0捨て張り、DRt12張り
②	LGS下地、GB-D(杉板)t-9張り
③	LGS下地、FKt6目透張り、EP塗り
④	梁型:GB-R張り、EP塗り 梁型:モルタル塗り、EP塗り
⑤	コンクリート打放し、複層塗材吹付
⑥	LGS下地、GB-Dt-9.5張り
⑦	木毛セメント板t25打込み、EP吹付
■	既存アルミカーテンボックス
☒	既存天井点検口:アルミ製 450×450
⋯⋯⋯	既存埋込型照明器具を示す
□	既存天井カセットエアコンを示す

■ 既存ボード撤去、新設部分を示す

工事名称 三国公共職業安定所外壁・内壁修繕工事		図面NO. 12 / 13
図名 1・2階天井伏図		整理NO. A-11
縮尺 1 / 100		年 月 日
K M R 一級建築士事務所 知事登録 No. U-115 株式会社 木村建築事務所 KIMURA ARCHITECTS-ENGINEERS CO. LTD. 事務所: 福井県福井市大手2丁目20-15		一級建築士 No. 167899 木村憲一
		CH DR

